

別紙1 スキルアップ研修テーマの整理

分類			
1. スキルアップ研修			
(1) 基本テーマ	テーマ	講師案	時期案
	① 防災士会活動の方向性	理事長	7～8月
	② 講習の基本 法律 マナー、情報伝達力他	弁護士 適任者	4～6月
	③ 防災士教本・防災白書の 最新情報	執筆担当 の先生	9～11月
	④ 災害ボランティア活動の基本	適任者	4～6月
	⑤ 防災士活動の事例紹介	適任者	1～3月、 総会
	⑥ 支部活動の事例紹介	支部	
	⑦ 被災地活動報告	支部	
	⑧ 受援体制の整え方	適任者	適宜
	⑨ 災害・防災新情報	研究者	適宜
	(2) 委員会	地区防災計画推進委員会	委員会選定
女性防災推進委員会			適宜
2. 連携研修 他組織（日本防災士機構、内閣府、気象庁等の行政、大学、研究機関、学会等、NHK等）が主催し、日本防災士会に協力依頼のある研修会は、会員に広報する。			
3. 基礎的研修 (1) 基礎的訓練（救出・救護訓練、避難訓練、DIG、HUG、防災街歩き、マイタイムライン、被災地支援、BCP、その他）は、支部で研修会を主催する。 (2) 研修制度が先行している支部の情報を他の支部で共有できる制度を検討する。			
4. 本部に講師紹介依頼のある他団体主催の研修 (1) 全国講師の選定基準の明確化（防災士資格取得時の研修会講師など） (2) 名簿公開及び年間活動内容の報告を制度化する			

別紙 2

防災士会 スキルアップ研修の検討		
項目	従前 (2022.7.21 時点)	今後の体制 (委員会提案)
目的	① 最新防災情報を提供する ② 防災士会でしか受講できない研修を全国で受講可能とする	① 防災士活動の質的向上を図る ② 指導的役割を果たす能力を身につける
対象者	全会員	会員に限る。 必要なアップすべきスキルは、①新入間もない会員と②経験のある会員では異なるため、対象を明確にして計画する。
テーマ及び講師選定	岡崎研修部長 (R3 年度アンケートや提案なども参考に機構のメルマガやトイレ研究所のHP や受講した講座からアタックした。)	① 研修テーマ : 9 (別紙) ② 委員会が企画するテーマ *法改正などはテーマに追加する
講師交渉	研修部長他	テーマにより開催担当者を決める
日程調整	研修部長	
会報案内 (募集)	基本的に 4 ヶ月前	未定
受講記録、評価方法	無し	マイページなどの活用について継続して検討する
研修検討の仕組み	研修部長制度	委員会はテーマなどの見直しの必要時に開催、委員会はオープンとし、情報を積極的に公開する
受講回数	自由	年 1 回以上を目標に受講するよう促す。目標: 会員 10000 名 ÷ 12 (月) = 毎月約 1000 名受講者
申し込み者管理	研修部長	テーマにより開催担当者を決める
受講者への通知、案内	研修部長	
参加費用	リモート研修は無料、リアルの場合は会場参加者負担	座学はリモートを前提とする
当日管理	研修部長 ZOOM 管理は事務局	
講師事後対応挨拶・謝礼	謝礼は、3 万円+源泉額を講師の口座振込。 ただしリアルの場合は、謝礼に加えて交通費の実費を支払う。	
その他		